

議長所信表明から抜粋

……略……改めて市民から信頼される議会とは何か、自治基本条例の原点に返って考えることが必要…今まで以上に委員会が市民の中に入り、委員会機能を強化し、委員会活動を更に進化させることが重要と思います。

委員会に関し具体的に以下5点について検討してまいります

- ① 委員の資質向上、委員会の専門性向上のため、積極的に専門的知見を得ることに努め、必要なら議会費の確保も検討します
- ② 議会運営委員会と議会改革推進会議の更なる連動、一体化を検討してまいります。また、広報広聴委員会の広聴機能、企画推進機能を強化します
- ③ 委員会活動の集大成でもある委員会提案が政策にどう反映されているか検証する仕組みを検討します
- ④ 今後は委員長のリーダーシップが益々重要となり、委員長の仕事量の増大が見込まれます。委員長報酬の検討に着手します
- ⑤ 令和元年にスタートする予算決算委員会が所期の目的が達成できるよう予算決算委員長をしっかりとサポートしてまいります

ほかに、以下3点について検討を進めてまいります

- ① 政治倫理に関し、全議員出席による 隔年に一度の政治倫理学習会を開催します
(H26.11.19 飯田市議会議員の政治倫理に関する内規 の具体的活動)
- ② 大規模災害時に議会としてどう対応するか。災害時を想定し議会に災害対策本部を設置した訓練、学習会を毎年一度行います
(H28.2.16 議運決定 飯田市議会災害対応指針の具体的活動)
- ③ 飯田市議会が広域的視点にたち南信州広域連合と連携することが益々重要となります。先ずは情報の同時共有。広域連合議会の議案、全員協議会の資料 連合長のあいさつ文など、議員 23 人全員に情報が速やかに渡る仕組みづくりを検討します

できるものから着実に一つひとつ結果を出して行くことが重要と思います。

……略……議員23人の英知を結集し 総合力を発揮し、議員も職員も成長できる議会運営に取り組んでまいります。